

(別記)

大空町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

大空町の農業構造については、畑地帯総合整備事業をはじめとする各補助事業により、生産・流通施設の拡充、大型省力機械等の導入と組織的な利用が進展し、畑作、稲作、酪農を中心とした安定的な農業経営が行われている。

近年は、農産物の輸入自由化、輸入加工品の拡大などによる農畜産物価格の低迷や、あるいは農家経営の安定化のため、花き、野菜、肉用牛の導入を図るなど経営の複合化に向けた取り組みを展開している。

しかし、近年の農業情勢の先行き不安等から農業を生涯の職業として選択しない後継者が増えており、大空町においても農業の担い手不足が顕在化し、高齢化が進み離農者の増加が懸念されている。

2 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

「生産の目安」に沿った作付面積を作付することを目指し、国が示す主食用米の作付動向や契約・販売状況、民間在庫の推移等を参考にしながら、需要に応じた生産を推進する。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

作付けなし

イ 米粉用米

作付けなし

ウ 新市場開拓用米

作付けなし

エ WCS用稲

作付けなし

オ 加工用米

需要に応じた生産数量を確保する。

カ 備蓄米

作付けなし

(3) 麦、大豆、飼料作物

麦・大豆は、地域として輪作体系を維持する上で必要であることから、湿害回避の排水対策、生産性の高い優良品種への転換を進め、飼料作物も併せて、機械導入による省力化等を推進する。

(4) そば、なたね

作付けなし

(5) 高収益作物（野菜等）

青果、果樹、花卉については、農業所得確保のため、市場販売の更なる強化を図り、加工・業務用の生産拡大も合わせて取り組むこととする。

(6) てん菜・馬鈴薯

てん菜の作付面積は年々減少傾向にあり、地域としてより振興すべく重要視している作物であることから、適正な輪作体系の維持や土壌分析結果を活用した適正施肥、また省力的な生産方式の導入も含め、指標面積の確保に取り組む。

馬鈴薯は、澱粉原料用・加工用・生食用等、用途別の需要に見合った品種の計画的な作付けや生

産と、製造コストの低減はもとより、食の安全・安心の確保など、実需者ニーズに的確に応えていくこととする。

(7) 畑地化の推進

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 29 年度の作付面積 (ha)	平成 30 年度の作付予定面積 (ha)	平成 32 年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	182.96	183.46	183.00
飼料用米			
米粉用米			
新市場開拓用米			
WCS 用稲			
加工用米	9.42	7.90	9.40
備蓄米			
麦	539.62	550.53	541.50
大豆	105.81	90.76	105.00
飼料作物	18.12	17.86	13.00
そば			
なたね			
その他地域振興作物	672.56	685.40	666.88
てん菜	251.11	252.48	255.50
馬鈴薯	19.88	23.29	20.00
玉葱	160.75	169.20	160.00
ブロッコリー	9.93	11.95	11.00
人参	7.12	7.91	6.00
セルリー	4.57	4.58	4.60
レタス	10.51	11.54	11.80
長葱	5.15	4.45	4.60
アスパラ	3.70	3.97	3.50
トマト	0.39	0.31	0.70
わさび	1.27	0.90	0.30
小豆	62.81	69.47	63.00
菜豆	122.13	106.03	111.50
花き	2.14	2.01	2.50
地力増進作物	5.15	9.58	5.20
インゲン豆	0.04	0.03	0.04
南瓜	4.80	5.59	5.00
スイートコーン	0.04	0.04	0.04
キャベツ	1.04	1.84	1.38
ニンニク	0.03	0.04	0.03
きゅうり		0.01	0.01
大根		0.09	0.09
白菜		0.09	0.09

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	目標値	
				現状値	目標値
1	麦・大豆	麦・大豆の生産支援	対象作物作付面積	(29年度) 645ha	(30年度) 641ha
2	てん菜	てん菜の適期防除による安定生産の支援	対象作物作付面積	(29年度) 251ha	(30年度) 252ha
3	花き・野菜・小豆・菜豆	高収益作物の生産支援	対象作物作付面積	(29年度) 223ha	(32年度) 230ha
4	馬鈴薯・玉葱・南瓜・キャベツ・ほうれん草・人参・サヤインゲン・スイートコーン・いちご・にんにく・きゅうり・大根・白菜	高収益作物の生産支援	対象作物作付面積	(29年度) 194ha	(32年度) 210ha
5	地力増進作物	輪作体系正常化のための取組支援	対象作物作付面積	(29年度) 5ha	(30年度) 5ha
6	てん菜	てん菜の生産支援(排水性向上対策)	対象作物作付面積	(29年度) 251ha	(32年度) 256ha
7	てん菜	てん菜の生産性向上支援(高度施肥推進)	対象作物作付面積	(29年度) 251ha	(32年度) 256ha
8	てん菜	てん菜の省力化生産支援(直播栽培)	直播栽培面積 対象作物作付面積 労働時間短縮	(29年度) 45ha (29年度) 251ha (29年度) 95.7H/ha	(32年度) 52ha (32年度) 256ha (32年度) 93.6H/ha
9	小豆・菜豆類	担い手の豆類作付推進支援	対象作物作付面積	(29年度) 168ha	(30年度) 175ha
10	花き・野菜(トマト・長葱・ブロッコリー・アスパラガス・セルリー・レタス・わさび)	担い手の労働集約型品目の作付推進支援	対象作物作付面積	(29年度) 36ha	(30年度) 38ha
11	てん菜・馬鈴薯・野菜	担い手の高収益の作付推進支援	対象作物作付面積	(29年度) 404ha	(30年度) 461ha

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内として下さい。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり